

## 金沢大学国際基幹教育院外国語教育系・外国語教育部門 2020 年度活動記録

### ■事業日誌

- 4-5月 TOEIC Listening and Reading Test
- 7月31日 第1回FD研究会「EAPワークショップI」
- 8-9月 TOEIC 夏季集中講座（全2回）
- 9月18日 第2回FD研究会 西嶋愉一「Google を使った TOEIC 教材作成」
- 9月24日 第1回SGU英語教育に関するFD研修会 家口美智子・Dale Brown・橋本将「本学における英語教育～国際基幹教育院と専門教育をつなぐ～国際基幹教育院における英語教育とTOEIC」
- 11月9日 第1回FD/SD講演会 Randy Appel “Corpus approaches to issues in the acquisition of L2 English academic writing”
- 11月15日 実用フランス語技能検定試験（秋季）1次試験
- 11月20日 スキルアップセンターFD研修会 Mark Hammond・Dale Brown・趙菁
- 11月22日 第101回中国語検定試験
- 12月2日 第2回SGU英語教育に関するFD研修会 大藪加奈・Dale Brown・橋本将「国際基幹教育院における英語教育とEMI科目」
- 12月6日 ドイツ語技能検定試験
- 1月22日 第2回FD/SD講演会 Jayson Parba “Incorporating critical perspectives in the EAP classroom”
- 1月24日 実用フランス語技能検定試験（秋季）2次試験
- 2月 TOEIC Listening and Reading Test
- 2月5日 第3回FD研究会「オンライン授業における初習言語科目の対応と模索」
- 2月19日 第4回FD研究会「EAPワークショップII」
- 3月16日 スキルアップセンターFD研修会 Lewis Murray

## ■FD/SD 講演会

第1回 11月20日 “Corpus approaches to issues in the acquisition of L2 English academic writing” Speaker: Randy Appel (早稲田大学グローバルエデュケーションセンター 講師)

(参加人数 : 12名)

For the first of this year’s Public Lectures, the EAP Committee invited Dr. Randy Appel, of Waseda University, to speak. The focus of Dr. Appel’s research has been on examining corpora of second language learners’ writing to uncover and address issues related to second language acquisition, primarily with regard to their use of formulaic language. Dr. Appel introduced a number of his recently published studies, using these to illustrate problematic or salient features he had identified in learner writing and talked about how the findings from his research might feed back into teaching academic writing to second language learners. A question-and-answer session followed the one-hour lecture, during which various issues relating to developing and using corpora of student writing were discussed. (Lewis Murray)

第2回 1月22日 “Incorporating critical perspectives in the EAP classroom” Speaker: Jayson Parba (University of Hawai’i at Manoa, Filipino and Philippine Culture Program 講師)

(参加人数 : 15名)

The second EAP Public Lecture of the year was given by Dr. Jayson Parba, of the University of Hawai’i, whose research is in the field of critical language teaching. Dr. Parba began by giving an introduction to critical pedagogy more generally, before talking more specifically about how it relates to language teaching and describing some of the ways that he has incorporated ideas derived from this work into his own teaching. In the discussion following the lecture, Dr. Parba addressed issues relating to how certain topics, such as those concerning the Black Lives Matter movement which featured in the 2020 EAP IV course, might be made relevant to Japanese undergraduate students who may feel little connection with the topic. He also talked about the value of allowing students to use their first language for certain tasks in English classes, and not requiring the use of English at all times. (Lewis Murray)

## ■FD 研究会

第1回 7月31日 「EAPワークショップI」

(参加人数 : 15名)

The first EAP workshop of the 2020 academic year was held online and provided instructors with an opportunity to share their views on how the Q1/Q2 EAP I and EAP II courses had gone, and on possible scenarios for delivering the EAP III and EAP IV courses in Q3 and Q4. The session began with Professor Brown welcoming all participants and setting up the first “breakout” session, a chance for instructors to share their views on the EAP I and EAP II courses, before participants were assigned to smaller groups to begin. After 10-15 minutes of discussion, everyone reassembled, and

Professor Brown set up the second “breakout” session. The purpose of this was to glean instructors’ views regarding the possible ways of implementing the EAP III and EAP IV courses. These discussions and the input from instructors were of great value as the EAP Committee went on to decide how best to run the EAP III and EAP IV courses. (Lewis Murray)

## 第 2 回 9 月 18 日 西嶋愉一「Google を使った TOEIC 教材作成」

(参加人数：23 名)

国際試験教育企画部では、9 月 18 日に Google を使用した TOEIC 教材作成に関する発表を西嶋愉一先生に行っていただいた。この会は TOEIC 準備科目を担当する教員を対象に行ったもので、非常勤講師の方々にも参加していただきやすいように昼休みを利用した。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策として TOEIC 準備科目の授業はほとんどが遠隔授業であった。遠隔授業で課題や問題演習を行う際、教室での授業のように問題と解答用紙を配布して回収することはできなくなるために、全てオンラインで実施することになる。記述式の問題は、オンラインに載せること自体はさほど困難ではなく、採点も紙の採点と大きく変わることはない。一方、TOEIC 準備の授業では、多肢選択式の問題を大量に使う必要がある。これを手作業でオンライン化するのは作業量の点やミスが入り込みやすい点で授業担当者の負担が大きい。そこで、Google スプレッドシートに問題と選択肢を置き、Google Apps Script を用いたプログラムでこれを Google フォーム化するツールと、その利用法について紹介した。

FD 研究会には非常勤講師を含む 23 名が参加してくださり、今後の教材作成や、遠隔授業を支援する道具のひとつとして活用できるため、とても参考になる発表となった。(ダガンさかの)

## 第 3 回 2 月 5 日 「オンライン授業における初習言語科目の対応と模索」

(参加人数：24 名)

2020 年度、新型肺炎感染拡大のため、初習言語科目において Q1 から Q4 までの期間、必要に応じて随時、遠隔授業の対応が迫られた。今回の FD 研究会では、初習言語科目の授業担当者がどのように遠隔授業を行ってきたのか、またその際生じた諸問題について報告した。以下の授業担当者からは、授業実施形態、学生の受講状況、教員による授業の質・量的評価、授業準備の経験・仕事量、問題点・改善点（大学の指示や大学提供の遠隔授業環境（LMS など）に対する意見など）について詳細な報告、情報共有及び意見交換を行った。

### 【第一部】韓国語：崔チョンア

ドイツ語：ヤナ・クラチャンスカ、早川文人

高橋麻帆、名執純子、河田章子、田中まり、岡本亮子

ロシア語：オクサーナ・ボンダレンコ、平松潤奈

### 【第二部】西洋古典語：入江浩司

フランス語：セシル・アンドリュ＝川上、ロイック・メノウ、佐藤朋子

スペイン語：雄谷ソニア啓子、マルセ・トウラ

中国語：渡邊彩奈、加納希美、艾玉霞、山田従子、村田順子、趙菁

報告によると、学生の受講状況については、例年、Q1Q2 に学生間の力の差がたちまち開いていくが、今年度はそれがさらに顕著であった。遅れている学生は、やがて課題提出が滞り、教材の閲覧もあまりしなくなったが、意欲のある学生は、音読も文法の理解も良好で、オンラインでも対面でも熱

心に受講を続けたことで、上位の学生の学力は例年と変わらなかった。ただ、初習言語は、文字や発音など、学修の基盤となる言語それ自体をゼロから学修する特殊な科目であり、この特殊な科目においては、オンライン教育の限界がとりわけ強く感じられる。そうしたことはあらかじめわかっていたことなので、大学にはせめて、Zoom等の同時双方向型授業を（それ自体、対面授業にくらべ大きく劣るにせよ）最初から推奨し、それが可能となる環境を整備していただきたかったという意見もあった。

教員による授業の質・量的評価については、オンラインと対面授業の組み合わせによって例年に比べて進度はそれほど変わらなかった。一方、授業準備の経験・仕事量などについては、遠隔授業での仕事量は大幅に増え、オンライン授業用資料の準備以外に、学生とは練習問題を通じてやり取りをすることになり、教室では一言で全員に指示できることが、それぞれの学生の課題の添削の際に同じようなことを何度も繰り返し書く必要があった。また、添削した課題をLMS上にアップロードする作業には、大変な時間と労力を要した。今後の問題点・改善点としては、特にLMSに関する改善を求める意見が多かった。例えば、LMSの設計上の問題として、教員が個別の学生に電子ファイルをアップロードする形で課題の返却をする場合に大変な手間と時間がかかり、一方で学生の側では、どこに返却のファイルがアップロードされているか、非常にわかりづらかった。

本研究会では、上記のような問題への対応方法について、大学内での支援組織の連携（高等教育、ICT教育推進室など）についても情報交換があった。FD研究会後にICT教育推進室より、オンライン教材作成・テスト作成、WebClass使用方法などについて今後の課題解決につながる有益な意見及びアドバイスが寄せられた。また、非常勤講師の遠隔授業実施期の非常勤講師手当支給の根拠となる資料提出手続きの簡略化、希望する教員には来年度の9月以降も双方向型遠隔通信サービスのアカウントを貸与すること、感染症対応の情報共有、罹患者及び障害がある学生の各言語のコーディネーターへの情報共有などの要望については、初習言語企画部から言語科目企画部に報告して、今後の改善を図ることに努めた。初習言語教育企画部としては、今回の研究会で報告された問題を真摯に受けとめ、今後、教材開発及びオンライン授業の経験を生かした反転授業の促進などを含めた授業改善に努めていきたいと思う。（趙菁）

#### 第4回 2月19日 「EAPワークショップII」

（参加人数：18名）

The second EAP workshop of the year provided a chance for each of the EAP course heads to introduce changes to the EAP courses for the 2021 academic year. The session was hosted by Professor Brown, who started by making general announcements before each of the 2020 course heads (Professor Brown for EAP I, Professor Murray for EAP II, Professor Oyabu for EAP III, and Professor Yaguchi for EAP IV) spoke in turn about the plans for their respective course in 2021. Following this, Professor Brown chaired a discussion among all participants about issues instructors had related to teaching EAP in 2020. One of the main issues discussed related to the increasing availability of online software that students can take advantage of to help them write their EAP assignments, and how this might be managed effectively in the future. The varied experience of instructors with such tools at different institutions made for an interesting and enlightening discussion. Following this main session, each of the EAP course heads then hosted separate Zoom calls devoted to their course in which instructors could discuss issues and ask questions related specifically to each course. (Lewis Murray)

## ■その他

### ■9月24日 家口美智子・Dale Brown・橋本将 第1回 SGU 英語教育に関する FD 研修会 「本学における英語教育～国際基幹教育院と専門教育をつなぐ～国際基幹教育院における英語教育と TOEIC」

外国語教育部門が行っている英語の共通教育（EAP コースと TOEIC 準備コース）と TOEIC テストについて紹介した。（家口美智子「共通教育の英語」・Dale Brown 「GS Language Courses: EAP」・橋本将「TOEIC テストが示す英語力と TOEIC 準備コースについて」）

### ■11月20日 Mark Hammond・Dale Brown・趙菁 スキルアップセンターFD 研修会

Mark Hammond, Dale Brown and 趙菁 represented the Foreign Language Division at this event in which they discussed the successes, concerns, and challenges of the division's efforts to continue to provide high quality language courses during the rapid switch to online learning in Q1 and Q2. (Mark Hammond 「Successes and challenges of the 2020 TOEIC Preparation Course Program in Q1 & Q2」・Dale Brown 「EAP in 2020」・趙菁「金沢大学 初習言語 2020 Q1・Q2 の取り組みについて」)

### ■12月2日 大藪加奈・Dale Brown・橋本将 第2回 SGU 英語教育に関する FD 研修会 「国際基幹教育院における英語教育と EMI 科目」

英語の共通教育と専門教育の連携に関して、EAP コースと TOEIC 準備コースがどのように取り組んできたか、どのような示唆が得られてきたかを説明した。（大藪加奈「現行 GS 言語科目 EAP カリキュラム作成の経緯」・Dale Brown 「EAP and EMI: A survey of EMI faculty」・橋本将「TOEIC 準備科目の単位取得状況からわかること・外部試験スコア卒業要件化への示唆」）

### ■3月16日 Lewis Murray スキルアップセンターFD 研修会

Lewis Murray represented the Foreign Language Division at this event and described how the EAP II course (a presentations course) had to be drastically adapted in 2020 for online learning, as well as how plans for the 2021 EAP II course sought to combine the best aspects of the pre-2020 course with positive aspects of the 2020 course. (Lewis Murray 「Developing learning materials for the EAP II Course」)

## ■学習支援事業

### ■TOEIC 集中講座

前年度に引き続き、休み期間（夏季）に TOEIC 集中講座を実施した。  
実施日時および概要は以下の通り。

TOEIC 夏季集中講座

TOEIC Listening and Reading 対策講座《ちょっと上を目指す編》

TOEIC Listening and Reading 対策講座《入門編》

## ■検定試験関連事業

### ■TOEIC Listening and Reading Test

4-5 月 TOEIC Listening and Reading Test は、前年と同じように 4 月第 2 週の土曜日にマークシート方式で実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染対策としてオンライン方式に変更して、2020 年 4 月 25 日-5 月 8 日に実施した。総合教育部の 1 年生 131 名が受験した。

2 月 TOEIC Listening and Reading Test は、マークシート方式で 2021 年 2 月 15、16、22 日に実施した。本学の 1 年生 1698 名が受験した。

### ■実用フランス語技能検定試験、模擬試験（リスニング対策）

2020 年度当初、実用フランス語技能検定試験は例年どおり 2 回予定されていましたが、コロナ禍の影響で春季試験（1 次：6 月 21 日、2 次：7 月 19 日）は中止されました。秋季については、感染防止策が講じられた上で、1 次試験が 11 月 15 日（日）に、準 1 級・2 級・準 2 級の 1 次合格者を対象とする 2 次試験が 2021 年 1 月 24 日（日）に開催されました。2 次試験の運営には本学の教員 1 名が協力しました。なお、試験に先立ち、学内でリスニングの模試を実施しました。10 月 20 日に実施した準 2 級対策模試に 2 名、翌 21 日の 2 級対策模試に 1 名が参加しました。他の級についても案内を学内で流しましたが、参加者がゼロという結果になったため、模試の需要や実施曜日および時刻について現在あらためて検討しています。

本学からの実質受験者数（括弧内は合格者数）

1 級	0 (0)
準 1 級	1 (1)
2 級	6 (2)
準 2 級	4 (4)
3 級	3 (3)
4 級	5 (5)
5 級	2 (2)
合計	21

## ■ドイツ語技能検定試験

ドイツ語技能検定試験は、2020年12月6日（日）に本学角間キャンパス総合教育講義棟で行われた。新型コロナウイルス感染拡大状況下であったため規模を縮小し、感染予防に努めて実施した。

会場責任者：早川文人 試験監督者：ヤナ・クラチャンスカ，橋本将，岡本宜高

受験者実数は以下の通り。

1級	準1級	2級	3級	4級	5級	合計
2名	3名	10名	15名	8名	4名	42名

（早川文人記）

## ■中国語検定試験

実質受験者数と合格者数（括弧内）

	第101回 (11/22)
準1級	0
2級	4 (2)
3級	6 (4)
4級	7 (5)
準4級	6 (6)
合計	23 (17)

会場責任者：趙菁

試験監督者：趙菁・上田望・加納希美

## ■刊行物

- 『初習言語ガイドブック』2021年度版
- 『EAP Teachers' Guide 2021』
- 『EAP コース説明リーフレット』
- 『TOEIC 準備コース説明リーフレット』
- 『言語文化論叢』第25号
- 『外国語教育フォーラム』第15号